

っ先に会場にこられて準備に大忙しだった君。また、I CME 9では、戦後日本の高校数学の必修内容をまとめて英訳し、諸外国に紹介しようと奮闘されていた君。昨年春の研究員発表会では、都研の会場で、新科目「数学基礎」の教材例を樂しげに提示し、説明されていた君。あの日、あの時の君のさわやかな笑顔が忘れられない。

数学教育の危機が叫ばれ、新しい数学教育が求められている。理数研でもそれに向けての研究が緒に就いた今、これからこそが富岡さんの活躍舞台、君のあの情熱が、あのエネルギーが、あの行動力が、ぜひとも必要とされる時なのに、君はいない。なぜ君は急に逝ってしまったのか。なぜ君が事故に遭わねばならなかったのか。

君の通夜の日、雨の中で“なぜ…、何故…”と何度も問い続けていた。今も…。答えの得られないこの問…。惜しんでも惜しみたりない貴重な人を失ってしまった。言いやうのない悲しみに身が震える。ご冥福をお祈り申し上げるばかりである。

“何故逝きし 君待つ庭に 秋の雨” (風間 賢士)

### 富岡先生のご逝去を悼む

平成12年9月20日、東京都立雪谷高等学校教諭富岡直三先生が御他界されました。私と同じ年で、享年44歳でした。

私と先生とのお付き合いは、東京都工業高等学校数学教育研究会で先生がご活躍されていた頃、私も同研究会で勉強をさせていただいたことに始まります。その縁で、東京都高等学校数学教育研究会（略称都数研）の研究部学習指導法分科会にお誘いしました。その後、十数年間共に研究活動を続けてきました。

この十年間は、学習指導法分科会の世話人として、お互いに会の発展に寄与してきました。前世話人の竹村精二先生より、考え方班および不思議調査班の世話人を私が務めて、二人で会の両輪として学習指導法分科会を発展させるように依頼されました。その間、富岡先生のお人柄から、多くの優秀な仲間をえて、研究を進めると同時に、困ったときには常に相談にのっていただきました。

この二年前には、お互いに二度目の東京都教育委員会の開発委員を務めました。富岡先生は、「数学基礎」に関する実践的な教材開発を研究し、今後の数学教育に大きく貢献される業績を残しました。

日数教大会では、日数教研究部幹事副主任である富岡先生の企画で、多くの研究仲間と宿をともし親睦を深めてきました。昨年の秋田大会では、先生の運転で、数日間を共にした思い出を生涯忘れることができません。また、今年のI CME 9においても、先生が諸外国の人達に情熱を持って日本の数学教育を紹介していたことを昨日のように思い出されます。

先生の訃報に接し、長年の友人を失った悲しみと共に、日本の数学教育の優れた実践的指導者である先生を失った無念さを強く感じております。先生の人柄のよさは、この書面では言い尽くせません。心の支えである富岡直三先生に感謝すると同時にご冥福を心よりお祈り申し上げます。(東京都立墨田川高等学校 村田 緯和雄)

### 富岡先生を偲んで

突然の電話の知らせに驚きました。あまりに突然で信じられず、驚きの中で、しば

らくお会いしていなかった先生のあの明るい笑顔と、都数研学習指導法部会で忙しく駆け巡っておられたお姿が懐かしく浮かび、思い出すほどに悲しみが深くなっていきます。

私が都数研でお世話になった昭和63年。富岡先生はそれ以前より都数研で活動をしておられ、長い間東京都の数学教育に貢献され、大変大きな功績を残されました。特に学習指導法部会では、興味・関心班、不思議班、教育課程等多くの研究活動や研究発表にかかわってこられました。生徒の数学に対する興味・関心を高め、不思議・疑問に思うことを大切にされた指導法の研究に取り組み、特に日本数学教育学会神奈川大会での発表を契機に忙しく活動した不思議班では、研究の結果を出版することができました。その間、長野県の蓼科や三重県伊勢で全班員の合宿をしたり、数学の研究や親睦を深めることができました。厳しい議論をしあったときでも、いつもにこにこ明るくて誠実であった富岡先生。先生のお人柄と多くの業績や思い出はきっとたくさんの人たちの心の中に長く残っていくことでしょう。先生の数学教育界でのこれからの活躍が期待されていた折に、都数研で研究してきた同世代の仲間を失った悲しみと悔しさは言葉になりません。富岡先生のご冥福をお祈りし、先生の意をくんだ都数研の発展を願ってやみません。(東京都立小松川高等学校教頭 栗原 卯田子)

### 富岡直三先生のご逝去を悼む

この原稿のお話をいただいた前日にたまたま部屋を整理していたら、一枚のFAXが出てきました。夏休みの終わりに富岡先生と連絡を取る必要があり、ご自宅と学校に電話をしても、携帯に電話をしてもタイミングが合わないようで、連絡をとることができませんでした。そこで、ご自宅留守電話に用件のみ入れておいたところ、数日経ってFAXをいただいたのです。実は私が転居して新しい電話番号をお伝えしてなかったため、富岡先生から電話をいただくことができなかったとのことでした。今から思えば、このすれ違いがなんとも残念であり、お話ができていれば、と悔やまれます。

さて、富岡先生とは、13年前からお付き合いさせていただいているのでしょうか？年齢も近いことから、ずいぶん多くの時を共有させていただきました。都数研、日数教、その他諸々の場で、数学教育の研究について、まったくの素人であった私にいろいろな角度・場面でご指導いただいたと感謝しております。この場を借りて、お礼を申し上げさせていただくとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

(東京都立墨田川高等学校 佐藤 言)

### 告別式における弔電(原文のまま)

「突然の訃報に接し、信じられません。先生は私共の会の実践的研究活動の先頭に立って、活躍しておられました。

今後、数学教育の危機と戦うリーダーとして期待しておりましたが、かえすがえすも残念です。私共は先生の御遺志を引き継ぎ、日本の教育の飛躍に努めることをお誓い申し上げます。先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

東京理科大学数学教育研究会 会長 長野 東 (愛媛より、お悔やみ申し上げます。)

平成12年9月22日